学校教育目標

本校児童の実態

- 自分の考えをなかなか表現 しようとしない。
- ・自分から行動するより、他 の人の様子を窺ってから行 動することが多い。
- ・素直な子は多いが、失敗を 恐れたり認めたりすること ができない。
- ・できることは多いのに、自 己肯定感が低い。

おおらかで たくましく 進んで学ぶ子

夢を育み、

感動・笑顔・歌声あふれる学校

研究主題

主体的に伝え合い学び合う 児童の育成を目指して ~国語科学習の充実と 指導法の工夫・改善~

〈目指す児童像〉

〈全体〉

自分の思いや考えをもち、 それを伝え合いながら、 自分の考えを豊かにすることができる子

教師の願い

- ・自分の考えを堂々と発表で きる子になってほしい。
- ・友達の話をしっかりと聞き、自分の考えと比べ、感じ方の違いに気付ける子になってほしい。
- 自分や友達のよさを認め、豊かな考えをもてる子になってほしい。
- ・正しいと思うことを自信を もって表現してほしい。
- ・多様な国語の授業の仕方を 知りたい。

〈低学年〉

○身近なことや経験したことを もとにして、自分の考えをもて る子

- ○伝えたい事柄や相手に応じて、 声の大きさや速さなどを工夫 できる子
- ○相手の発言に対して、自分の思 いや考えをつなごうとする子

〈中学年〉

- ○相手や目的を意識して、自分の 考えをもてる子
- ○話の中心や話す場面を意識して、必要な事柄を選んで工夫して表現する子
- ○互いの意見の共通点や相違点 に着目して、考えをまとめられ る子

〈高学年〉

- ○目的や意図に応じて、自分の考え をもてる子
- ○資料を活用するなどして、自分の 考えが伝わるように表現を工夫 できる子
- ○互いの意見の共通点や相違点を 比較しながら、自分の考えを広げ られる子

〈研究仮説 1〉

学習過程や学習活動を工夫することで、児童に思いや考え をもたせ、自分の言葉で表現させることができれば、伝え合 う活動が充実するであろう。

〈研究仮説 2〉

発問の仕方や教師の働きかけ、関わり方を工夫することで、児童どうしの学び合いを充実させれば、児童の考えを広げたり深めたりして、考えを豊かにさせることができるであろう。

環境整備部

- ○教材づくり
- ○掲示計画とその充実
- ○授業研究の記録写真

調査分析部

- ○実態意識調査・分析(1,3学期)
- ○調査結果による育てたい力を身に 付けさせるための手立て検討

学年ブロック

- ○各学年による授業の工夫・改善・実践
- ○ブロックによる授業参観・研究
- ○各専門部への依頼・協力

授業研究部

- ○児童が主体的に取り組める 授業の進め方
- ○指導案形式の検討

研究の計画・実践・評価・改善

確かな学力を培う学級経営の充実 家庭・地域社会との連携